

子どもの環境を議論

「文化会議」 来月21、22日 沖大で
県内初開催

沖繩の未来を担う子どもたちの現状や可能性について話し合う、第55回子どもを守る文化会議・沖繩集會

(主催・同実行委員会)が3月21日と22日の2日間の日程で、那覇市国場の沖繩大学で開催される。

に取り組む関係者が、実行委員会をつくり準備を進めている。

21日は全体会が開かれ、午前中は宮森小学校(うる

ま市)の平良嘉男校長が「宮森小学校ジェット機墜落事故からの半世紀」と題して講演する。同日午後のシンポジウムでは、県ファミリーサポートセンター連絡協議会会長の與座初美さん、元県中央児童相談所の山内優子さんから5人が「子どもたちを通して見えてき

た沖繩」をテーマに話し合う。開会に先立ち20日には、県内の米軍基地などをめぐるオプショナルツアーも企画している。

22日の分科会は「子どもと貧困・格差社会」「子どもと地域・環境」など、県内の子どものたちを取り巻く生活環境や貧困の実態、学びの場などについて、各分野の関係者が話し合う16の分科会が開かれる。

集會への参加申込は、同実行委にファックスを送信するか、ホームページ

分科会テーマ

育と子育て
らだと心を育てる
活と食生活
困・格差社会
域・環境
自治体
かな文化を
ディア
る子に豊かな育ち

への受容と支援の
学校の学びの「場」
子どもの権利条約
基地・暴力
ぬみにどう答えるか
社会

//www.kodomo.libre-o
kinawa.com/で。ファク

エコリーダーに認定

沖大、学生43人



地域の環境問題に積極的
に取り組む人材育成を目指
す沖繩大学の「美ら沖繩・
環境まちづくりリーダー育
成事業」に参加した学生43
人への「地域エコリーダ
ー」認定証授与式が18日、
那覇市の同大学で行われた
写真。

同事業は文部科学省の支
援を受けて2007年度か
らスタート。環境問題に関
心のある学生たちが集ま
り、エコ学園祭や地域の小
・中学校への環境教育支援
など、七つの環境活動に取
り組んだ。文科省の支援は
09年度で終了するが、今後
は大学独自に事業を継続す
る方針。桜井国俊学長から
認定証を受けた野原葉月さ